

平成29(2017)年度

東京大学

大学院工学系研究科

電気系工学専攻

入試案内書

.....
Guide to Entrance Examinations to the 2017,

Department of Electrical Engineering and Information Systems (EEIS),
Graduate School of Engineering, The University of Tokyo
.....

平成29(2017)年度

東京大学

大学院工学系研究科電気系工学専攻

入試案内書

平成29(2017)年度 電気系工学専攻調査票 修士課程用

修士課程 入学試験案内	04
出願日程A 博士後期課程 入学試験案内	06
出願日程B 博士後期課程 入学試験案内	08
入学試験受験生心得[修士課程および博士課程後期日程(出願日程A)]	10
大学院入学試験外国語(英語)試験に関するお知らせ	11
担当教員一覧	12

1 試験日程および持参品

試験科目	日時	試験場所	持参品	備考
英語 (TOEFL-ITP)	8月29日(月) 9:00～11:30	受験票発送時に外国語試験会場案内を同封します。	受験票、黒色の鉛筆(またはシャープペンシル)、消しゴム、鉛筆削り、定規、時計(計時機能だけのもの)。なお電卓、計算機能付き時計、携帯電話、辞書の使用は認めません。	ただし、TOEFL公式スコアを提出した場合は、英語(TOEFL-ITP)を受験できません。
一般教育科目(数学)	8月29日(月) 13:00～15:30	受験票発送時に一般教育科目(数学)試験会場案内を同封します。		2(1)を参照
指導教員希望調査票配布	8月29日(月) 15:30～16:30	工学部2号館 241号講義室	受験票	2(3)を参照
専門科目 電気電子工学 情報工学	8月30日(火) 9:00～12:30	工学部2号館 241号講義室 242号講義室 243号講義室 244号講義室	受験票、黒色の鉛筆(またはシャープペンシル)、消しゴム、鉛筆削り、定規、時計(計時機能だけのもの)。なお電卓、計算機能付き時計、携帯電話、辞書の使用は認めません。	2(2)を参照
指導教員希望調査票回収	8月30日(火) 12:30～13:00	工学部2号館 241号講義室 242号講義室 243号講義室 244号講義室	受験票、指導教員希望調査票(前日に配布されたもの)	2(3)を参照
口述試験	8月30日(火) 14:00～18:00 または 8月31日(水) 9:30～18:00 (予定)	控室:工学部2号館 241号講義室 集合時刻・集合場所などは8月29日に掲示	受験票	2(4)を参照

(注意)

- * 受験者は、試験開始20分前までに所定の試験室に入室してください。
- * 英語(TOEFL-ITP)試験室は、2016年8月26日(金)午前10時に工学系研究科事務部掲示板(工学部8号館前)にも掲示します(受験者心得参照)。
- * 専門科目の試験時間割および試験室等の詳細は、2016年8月26日(金)に電気系工学専攻の掲示板(工学部2号館旧館4階電気系工学専攻事務室前)に掲示します。試験室等の変更もあり得ますのでご注意ください。
- * 2016年9月1日(木)は修士課程受験者に対する試験はありません。

2 試験科目の内容

英語の試験に加えて実施する本年度の大学院修士課程試験科目の内容は下記の通りです。

(1) 一般教育科目(数学)

詳細については、工学系研究科から配布される募集要項を確認してください。過去の入試問題を、工学部プリントセンターで販売しています。詳細は以下のURLを確認してください(https://www.t.u-tokyo.ac.jp/soe/admission/general_past.html)。

(2) 専門科目(電気電子工学・情報工学)

電気電子工学と情報工学の研究を行うために必要な基礎的な学力を問う内容です。

以下の専門科目Ⅰおよび専門科目Ⅱの出題範囲から各2問ずつを選択解答します。

専門科目Ⅰ：電磁気学、回路、情報理論、アルゴリズム・プログラミングの4問から2問を選択解答

専門科目Ⅱ：コンピュータアーキテクチャ・デジタル回路、情報通信・信号処理、電子物性、電子デバイス、制御工学・電気機器、電力・エネルギーの6問から2問を選択解答

詳細については専攻ウェブページ(<http://www.eeis.t.u-tokyo.ac.jp/>)を参照してください。また、過去の入試問題をウェブページに掲載する予定です(工学部プリントセンターでは販売しません)。

(3) 指導教員希望調査票配布および回収

一般教育科目(数学)の試験終了後に、修士課程受験者には指導教員希望調査票(マークシート)を配布します。

翌日の専門科目(電気電子工学・情報工学)の試験終了後に回収するので、配布された調査票に必ず記入の上、忘れず持参してください(詳細は、「3 指導教員希望調査」を参照してください)。

(4) 口述試験

上記(1)および(2)の筆記試験に加えて口述試験を行います。志望分野とその理由のほか、その分野に関する基礎的事項について質問します。また、卒業研究の内容を口頭で紹介してもらうことや、筆記試験答案の内容に関し質問する場合があります。口述試験の資料として用いますので、「平成29(2017)年度電気系工学専攻調査票(修士用)」に必要事項を記入し、出願書類とともに送付してください。

3 指導教員希望調査

指導教員希望調査は、受験時に行います。受験者の最終的な指導教員の希望を確認するため、指導教員希望調査票(試験初日に配布)に配属希望教員を第1～第20志望まで記入の上、提出してもらいます。なお、本学電気電子工学科・電子情報工学科在籍学生でない受験者が配属に際して不利にならないよう配慮しています。配属は、受験者の希望を尊重して行いますが、希望した指導教員以外に配属されることもあります。受験者は、指導教員希望調査票の該当欄に明示することで、希望の教員に配属できなかった場合に不合格となることを選択できます。

電気系工学専攻修士課程合格内定者には、指導教員をただちに内定し通知を行います。万が一入学を希望しない場合は、その旨を工学系研究科学務課大学院チーム宛書面(入学辞退届)にて速やかに連絡してください。

4 注意事項

学生の所属コースは指導教員の担当コースになります。

電気系工学専攻では工学系研究科の定める要件を満たす合格者に対しては、9月入学を認めています。入学者選抜に用いた試験成績は、今後の本学の入試及び教育の改善に向けた検討のために利用することがあります。

電気系工学専攻では、受験時の入国ビザの取得手続きに関するサポートはいたしません。

5 平成29(2017)年度電気系工学専攻調査票(修士用)の記入について

口述試験の資料とするため、希望する研究分野および指導教員を理由とともに記入してください(試験時に行う指導教員希望調査の記入内容と異なっても構いません)。また、卒業研究のテーマ、卒業後の進路に関する構想も記入してください。

6 学部等での成績証明書と成績集計表の提出について

口述試験や可否判定の資料として用いますので、本専攻の受験者*は、学部等での成績証明書を提出してください。

また、証明書の記載内容を、巻末の成績集計表に要約し、証明書とともに提出してください。記入にあたっては、集計表裏面の注意をよく読んで、誤りのないように記入してください。

* 本専攻では、工学系研究科の募集要項に追加して、本学工学部卒業(見込)者にも成績証明書の提出を求めているので注意してください。

7 他大学または他分野出身の志願者へ

東京大学大学院工学系研究科電気系工学専攻では、東京大学工学部電気系学科出身の学生のみならず、さまざまな大学や学科から多様なバックグラウンドを持つ学生を幅広く受け入れています。今後も、入学者の多様性を確保することを一層重視したいと考えています。

出願日程 A

博士後期課程 入学試験案内

1 試験日程および持参品

試験科目	日時	試験場所	持参品	備考
英語 (TOEFL-ITP)	8月29日(月) 9:00～11:30	受験票発送時に外国語試験会場案内を同封します。	受験票、黒色の鉛筆(またはシャープペンシル)、消しゴム、鉛筆削り、定規、時計(計時機能だけのもの)。なお電卓、計算機能付き時計、携帯電話、辞書の使用は認めません。	ただし、TOEFL公式スコアを提出した場合は、英語(TOEFL-ITP)を受験できません。
一般学術科目 (数学)	8月29日(月) 13:00～15:30	受験票発送時に一般学術科目(数学)試験会場案内を同封します。		2(1-1)を参照
専門学術科目 (電気電子工学・情報工学)	8月30日(火) 9:00～12:30	工学部2号館 242号講義室(予定)		2(1-2)を参照
口述試験	9月1日(木) 8:10～18:00 (予定)	試験場および試験 日時は前日までに 別途掲示	受験票、および発表資料。 PC本体も持参してください。	研究計画書を出願書類とともに提出してください。

(注意)

- * 受験者は、試験開始20分前までに所定の試験室に入室してください。
- * 英語(TOEFL-ITP)試験室は、2016年8月26日(金)午前10時に工学系研究科事務部掲示板(工学部8号館前)にも掲示します(受験者心得参照)。
- * 専門学術科目の試験時間割および試験室等の詳細は、2016年8月26日(金)に電気系工学専攻の掲示板(工学部2号館旧館4階電気系工学専攻事務室前)に掲示します。試験室等の変更もあり得ますのでご注意ください。
- * 電気系工学専攻、新領域創成科学研究科先端エネルギー工学専攻、情報理工学系研究科電子情報学専攻の在学生に対しては、2016年9月1日(木)以前に口述試験を実施する場合があります。
- * 電気系工学専攻と電気・電子工学専攻、新領域創成科学研究科基盤情報学専攻および先端エネルギー工学専攻、情報理工学系研究科電子情報学専攻の修士課程を修了した者および修了見込みの者は、英語、一般学術科目(数学)、専門学術科目(電気電子工学・情報工学)の受験を要しません。
- * 工学系研究科の修士課程を修了した者および修了見込みの者は、英語の受験を要しません。

2 学術試験の内容

(1) 第1次試験

英語の試験に加えて実施する本年度の大学院博士後期課程入試一般学術科目および専門学術科目の試験内容は下記の通りです。

(1-1) 一般学術科目(数学)

詳細については、工学系研究科から配布される募集要項を確認してください。過去の入試問題を、工学部プリントセンターで販売しています。詳細は以下のURLを確認してください。

(https://www.t.u-tokyo.ac.jp/soe/admission/general_past.html)

(1-2) 専門学術科目(電気電子工学・情報工学)

電気電子工学と情報工学の研究を行うために必要な基礎的な学力を問う内容です。

以下の専門科目Ⅰおよび専門科目Ⅱの出題範囲から各2問ずつを選択解答します。

- 専門科目Ⅰ：電磁気学、回路、情報理論、アルゴリズム・プログラミングの4問から2問を選択解答
 専門科目Ⅱ：コンピュータアーキテクチャ・デジタル回路、情報通信・信号処理、電子物性、電子デバイス、制御工学・電気機器、電力・エネルギーの6問から2問を選択解答

詳細については専攻ウェブページ(<http://www.eeis.t.u-tokyo.ac.jp/>)を参照してください。また、過去の入試問題をウェブページに掲載する予定です(工学部プリントセンターでは販売いたしません)。

本研究科電気系工学専攻と電気・電子工学専攻、新領域創成科学研究科基盤情報学専攻および先端エネルギー工学専攻、情報理工学系研究科電子情報学専攻の修士課程を修了した者および修了見込みの者に対しては筆記試験を省略します。また、その他の本学大学院修士課程修了者に対しても

これを省略する場合があります。詳細は、電気系工学専攻事務室(電話 03-5841-6712)にお問い合わせください。

(1-3) 口述試験

口述試験は全受験者が対象です。

受験者には、各自の修士論文またはそれに代わるもの(現在進行中の場合は修士論文として予定しているもの)に関して、その研究内容を発表してもらいます。その後、その内容についての口頭質問を行います。また、上記(1-1)および(1-2)の筆記試験答案の内容に関する質問をする場合もあります。

発表には、PCプロジェクタを使用します。ただし、PC本体と、不具合に備えてデータをコピーしたUSB接続のメモリなどは、各自で持参してください。また、発表資料のコピーを6部、当日持参してください。発表時間は当日担当教員が指示しますが、目安は約20分です。

(2) 第2次試験

第1次試験の合格者で、同試験実施時点で修士課程修了見込みの者に対して、2017年2月中旬(予定)に、各自の修士論文を中心とした口述試験を行います。詳細な日程は別途通知します。

なお、2016年9月入学希望者に対する第1次試験は第2次試験を兼ねますので、第2次試験は別日程では実施しません。

3 提出書類

出願の際には、「博士後期課程研究計画書」および「所属長の承諾書」(該当者のみ)をほかの必要書類と一緒に必ず提出してください。

(1) 博士後期課程研究計画書

博士後期課程における研究計画として、「どのような研究方法で、何をどこまで明らかにしようとするのか」について2,000字程度で書いてください。A4用紙に片面印刷(ホチキス止め不可)以外は特に書式は定めませんが、氏名を明記の上、以下の項目に分けて具体的に記してください。

- ・研究目的(研究の背景および国内外の研究状況を含む)
- ・研究内容(年次計画を含む)
- ・研究の特色・独創的な点

博士後期課程において行いたい研究内容については、あらかじめ出願期間よりも前に、志望する指導教員と必ず十分に相談してください。

(2) 所属長の承諾書(該当者のみ)

社会人で在職の身分のまま入学を希望する場合は、入学後学業に専念させる旨の所属長の承諾書を提出してください(様式は任意)。工学系研究科配布の募集要項における該当箇所も参照してください。

4 注意事項

上記『提出書類(1),(2)』が願書に完備されていない場合は、無効とすることがあります。

入学者選抜に用いた試験成績は、今後の本学の入試及び教育の改善に向けた検討のために利用することがあります。

電気系工学専攻では、受験時の入国ビザの取得手続きに関するサポートはいたしません。

5 指導教員について

電気系工学専攻博士後期課程合格内定者に対して、指導教員をただちに内定します。博士後期課程を志願する者は、あらかじめ出願期間よりも前に、志望する指導教員と十分に連絡を取ってください。

出願日程 B

博士後期課程 入学試験案内

1 試験日程および持参品

試験科目	日時	試験場所	持参品	備考
英語	TOEFLのスコアをもって英語の試験とします。TOEFLの公式スコアシートを出願時に提出してください。提出の条件については11ページを参照してください。			
一般学術科目 (数学)	2月1日(水) 9:00～11:00 (予定)	工学部2号館 245号講義室(予定)	受験票、黒色の鉛筆(またはシャープペンシル)、消しゴム、鉛筆削り、定規、時計(計時機能だけのもの)。なお電卓、計算機能付き時計、携帯電話、辞書の使用は認めません。	2(1)を参照
専門学術科目 (電気電子工学・ 情報工学)	2月1日(水) 13:30～15:00 (予定)			
口述試験	2月2日(木) 8:10～18:00 (予定)	試験場および試験 日時は前日までに 別途掲示	受験票、および発表資料。 PC本体も持参してください。	研究計画書を出願 書類とともに提出 してください。

(注意)

- * 受験者は、試験開始20分前までに所定の試験室に入室してください。
- * 専門学術科目の試験時間割および試験室等の詳細は、2017年1月31日(火)に電気系工学専攻の掲示板(工学部2号館旧館4階電気系工学専攻事務室前)に掲示します。試験室等の変更もあり得ますのでご注意ください。
- * 電気系工学専攻、新領域創成科学研究科先端エネルギー工学専攻、情報理工学系研究科電子情報学専攻の在学生に対しては、別途口述試験を実施する場合があります。
- * 電気系工学専攻と電気・電子工学専攻、新領域創成科学研究科基盤情報学専攻および先端エネルギー工学専攻、情報理工学系研究科電子情報学専攻の修士課程を修了した者および修了見込みの者は、英語、一般学術科目(数学)、専門学術科目(電気電子工学・情報工学)の受験を要しません。
- * 工学系研究科の修士課程を修了した者および修了見込みの者は、英語の受験を要しません。

2 学術試験の内容

本年度実施する大学院博士後期課程入試一般学術科目および専門学術科目の試験内容は下記の通りです。

(1) 筆記試験

(1-1) 一般学術科目(数学)

電気系工学専攻博士課程において研究活動を行なう上で必要と考えられる数学に関する内容の筆記試験を実施します。

(1-2) 専門学術科目(電気電子工学・情報工学)

試験は小論文形式で実施します。小論文は電気電子工学・情報工学の研究を行うために必要な専門的学力を問う内容です。

本研究科電気系工学専攻と電気・電子工学専攻、新領域創成科学研究科基盤情報学専攻および先端エネルギー工学専攻、情報理工学系研究科電子情報学専攻の修士課程を修了した者および修了見込みの者に対しては筆記試験を省略します。また、その他の本学大学院修士課程修了者に対してもこれを省略する場合があります。詳細は、電気系工学専攻事務室(電話 03-5841-6712)に問い合わせてください。

(2) 口述試験

口述試験は全受験者が対象です。

上記(1)筆記試験科目受験者には、(1-2)の専門学術科目の小論文課題に関連した質問を行います。また、全受験者に、各自の修士論文またはそれに代わるもの(現在進行中の場合は修士論文として予定しているもの)に関して、その研究内容を発表してもらいます。発表時間は当日担当教員が指示しますが、目安は約20分です。その後、その内容についての口頭質問を行います。発表には、PC プロジェクタを使用します。ただし、PC 本体と、不具合に備えてデータをコピーした USB 接続のメモリなどは、各自で持参してください。また、発表資料のコピーを6部、当日持参してください。

3 提出書類

出願の際には、「志望する指導教員の受入承諾書」、「博士後期課程研究計画書」、「TOEFLの公式スコアシート」、および「所属長の承諾書」(該当者のみ)をほかの必要書類と一緒に必ず提出してください。

(1) 志望する指導教員の受入承諾書

出願期間よりも前に、あらかじめ志望する指導教員に依頼し、署名・捺印済みの受入承諾書(スキャンした電子ファイルやコピーでも可)を入手してください。

(2) 博士後期課程研究計画書

博士後期課程における研究計画として、「どのような研究方法で、何をどこまで明らかにしようとするのか」について2,000字程度で書いてください。A4用紙に片面印刷(ホチキス止め不可)以外は特に書式は定めませんが、氏名を明記の上、以下の項目に分けて具体的に記してください。

- ・研究目的(研究の背景および国内外の研究状況を含む)
- ・研究内容(年次計画を含む)
- ・研究の特色・独創的な点

博士後期課程において行いたい研究内容については、あらかじめ出願期間よりも前に、志望する指導教員と必ず十分に相談してください。

(3) TOEFL 公式スコアシート

TOEFLのスコア提出をもって英語の試験としますので、公式スコアシートを必ず提出してください。提出の条件については11ページを参照してください。公式スコアシートの提出がない場合は、それだけで不合格となることがあります。

(4) 所属長の承諾書(該当者のみ)

社会人で在職の身分のまま入学を希望する場合は、入学後学業に専念させる旨の所属長の承諾書を提出してください(様式は任意)。工学系研究科配布の募集要項における該当箇所も参照してください。

4 注意事項

上記『提出書類(1)～(4)』が願書に完備されていない場合は、無効とすることがあります。

入学者選抜に用いた試験情報は、今後の本学の入試及び教育の改善に向けた検討のために利用することがあります。

電気系工学専攻では、受験時の入国ビザの取得手続きに関するサポートはいたしません。

入学試験受験者心得

[修士課程および博士後期課程(出願日程A)]

-
- 1 試験日** 2016年8月29日(月)～9月1日(木)(1日(木)は修士課程受験者に対する試験はありません。)
-
- 2 試験場** 東京大学工学部 2 号館(東京都文京区本郷 7-3-1) [下記URL参照]
http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/index_j.html
http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_04_03_j.html
- (1) 各自が受験すべき科目の試験室については、2016年8月26日(金)午前10時に工学系研究科事務部掲示板(工学部 8 号館前) 及び電気系工学専攻掲示板(工学部2号館旧館4階電気系工学専攻事務室前)に掲示します。
- (2) 受験者は、筆記試験開始時刻の20分前までに所定の試験室に入室してください。定刻に遅れた場合は、試験監督者に申し出てください。
-
- 3 携行品**
- (1) 受験票
- (2) 黒色鉛筆(又はシャープペンシル)、消しゴム、鉛筆削り(卓上式は不可)、時計(計時機能だけのもの)
- (3) 携帯電話は、試験室入室前に電源を切って、カバン等に入れ、身につけないでください。これを時計として使用することは認めません。
-
- 4 筆記試験時の留意事項**
- (1) 試験開始後は、解答が終わった場合でも、また、受験を放棄する場合でも退室は許されません。
- (2) 試験時間中は、受験票を常に机の上に置いてください。
- (3) 解答用紙および問題冊子は、持ち帰ってはなりません。
-
- 5 口述試験時の留意事項**
- (1) 修士課程口述試験については1日目の試験終了後、日時および集合時刻と集合場所を掲示します。口述試験当日は指定された時刻に集合場所にて出欠確認を行います。集合時刻に遅れた場合には、口述試験の受験を認めない場合があります。
- (2) 指定日の口述試験実施時間中に受験しない場合は、受験そのものを放棄したとみなします。
-
- 6 博士課程第2次試験** 第2次試験は、原則として2017年2月中旬とし、期日・場所は追って通知します。
-
- 7 問い合わせ先** 〒 113-8656 東京都文京区本郷 7-3-1
東京大学 大学院工学系研究科 電気系工学専攻事務室
TEL : 03-5841-6712 E-mail : nyushi17@ee.t.u-tokyo.ac.jp
-
- 8 その他**
- (1) 合格者は、平成 28(2016)年9月8日(木)午後4時、工学系研究科掲示板に掲示します。併せて、平成 28(2016)年9月9日(金)までに本研究科web(<http://www.t.u-tokyo.ac.jp/soe/>)に掲載する予定です。
- (2) 合格者については、翌日以降で、合格通知書を本人宛に郵送します。電話による合否の照会には応じません。
- (3) 出願後、現住所、受信場所等に変更が生じた場合には、速やかに届け出てください。

大学院入学試験外国語(英語)試験 に関するお知らせ

修士課程ならびに出願日程A・博士後期課程の入学試験における外国語(英語)試験は、TOEFL-ITP^{*1}により実施します。

なお、出願時にTOEFL-iBT(インターネット版)またはTOEFL-PBT(ペーパー版)^{*2}の公式スコアを提出できる場合、そのスコアを外国語(英語)試験に替えることもできます^{*3}。ただし、公式スコアを提出した場合は、TOEFL-ITPを受験することはできません。

※1 TOEFL-ITPは、団体用の試験です。全受験生が同一の時間に同一の方法で受験するもので、本研究科の外国語(英語)試験時間をそのまま置き換える形で実施されます。

また、TOEFL-ITPは、TOEFL-PBTと同等内容の試験です。試験結果は本研究科の入学試験のみに有効であり、公式スコアとは認められません。

※2 現在、日本では、TOEFL-PBTの実施予定はありません。

(参照 URL : <http://www.cieej.or.jp/toefl/toefl/history.html>)

※3 出願日程Bでは、本研究科(専攻)によるTOEFL-ITP試験は実施しませんので、出願時にTOEFL-iBT(インターネット版)またはTOEFL-PBT(ペーパー版)の公式スコアを必ず提出してください。

TOEFL公式スコアを提出する際の 注意事項

TOEFL公式スコアの提出を希望する場合は、次の指定された年月以降に受験したTOEFL-iBTまたはTOEFL-PBTのスコアが必要です。

a) 修士課程、博士後期課程【出願日程A】：平成26(2014)年9月以降

b) 博士後期課程【出願日程B】：平成27(2015)年2月以降

さらに、出願時に下記(1)及び(2)の両方のスコアが提出できる場合に限りです。

(1) ETS(Educational Testing Service)から本人宛に送付された「Test Taker Score Report」のコピー またはETSサイトのMy Home Page内に表示されたスコアのプリント

TOEFL-iBTまたはTOEFL-PBTの「Examinee Score Record」のコピーを出願書類に同封して提出するものとします。出願書類に同封できない場合は、大学院入学試験時に行うTOEFL-ITPを受験することになりますのでご注意ください。出願期限以降のスコアの提出は、一切認めません。

(2) ETSから本研究科宛に直送される「Official Score Report」

ETSに「U Tokyo Engineering : DI (Designated Institution) コード "8596" (Department コード "99")宛に「Official Score Report」を送付するよう請求して下さい。

注)

- ETSから本研究科に送付される「Official Score Report」は、請求してからかなりの日数を要することがあるので、ETSへの請求は出願期限から6週間以上前を目途に行ってください。なお、「Official Score Report」が出願期限までに届かない場合は、出願書類に「Test Taker Score Report」のコピーを同封したとしても、大学院入学試験時に行うTOEFL-ITPを受験することになりますので注意下さい。出願期限以降にETSから届いたスコアは、一切認めません。
- 「U of Tokyo : DIコード "9259"」で請求しないでください。本研究科には届きません。
- TOEFL-iBTにおいては、Official Score Reportの送付手続きが試験当日にはできないので注意してください。
- スコア請求方法の詳細については、以下のウェブページを参照して下さい。
(参照 URL : http://www.cieej.or.jp/toefl/toefl/official_score_report.html)

担当教員一覧

環境・エネルギー分野

Power Engineering
and Environmental Technology



日高 邦彦 Hidaka, Kunihiko
教授

本

高電圧工学、電力エネルギー、電気材料学



松橋 隆治 Matsuhashi, Ryuji
教授

本

エネルギー経済システム学、環境経済学、地球温暖化
対応策



熊田 亜紀子 Kumada, Akiko
准教授

本

高電圧工学、放電プラズマ工学



岡田 至崇 Okada, Yoshitaka
教授

特

新エネルギー、太陽光発電工学



横山 明彦 Yokoyama, Akihiko
教授

本 柏

電力システム、スマートグリッド



小野 靖 Ono, Yasushi
教授

本 柏

人工太陽、核融合エネルギー、超高温プラズマ、太陽エ
ネルギー



大崎 博之 Ohsaki, Hiroyuki
教授

柏

超電導工学、電気エネルギー変換機器工学



小野 亮 Ono, Ryo
准教授

本 柏

放電プラズマ工学、プラズマケミストリー



井 通暁 Inomoto, Michiaki
准教授

柏

核融合エネルギー、プラズマ理工学



馬場 旬平 Baba, Jumpei
准教授

本 柏

パワーエレクトロニクス、スマートグリッド

システム制御・宇宙分野

Space Engineering
and Control Technology



古閑 隆章 Koseki, Takafumi
教授

本

運動制御、軌道交通/電機駆動制御応用



齋藤 宏文 Saito, Hirobumi
教授

相

小型衛星、衛星搭載合成開口レーダ、高速衛星通信



橋本 樹明 Hashimoto, Tatsuki
教授

相

宇宙機の制御、画像を用いた宇宙機の航法



久保田 孝 Kubota, Takashi
教授

相

宇宙探査ロボティクス、宇宙人工知能、画像理解



堀 洋一 Hori, Yoichi
教授

相

電気自動車、モーションコントロール、ワイヤレス電力伝送



藤本 博志 Fujimoto, Hiroshi
准教授

相

制御工学、ナノスケールサーボ、電気自動車制御

ナノ物理・デバイス分野

Nano Physics
and Device Technology



中野 義昭 Nakano, Yoshiaki
教授

本

光電子デバイス、集積フォトニクス



高木 信一 Takagi, Shinichi
教授

本

半導体デバイス工学、ナノデバイス物理



田中 雅明 Tanaka, Masaaki
教授

本

スピン/光/電子/物性・デバイス、スピントロニクス、ナノサイエンス



染谷 隆夫 Someya, Takao
教授

本

有機・分子エレクトロニクス、フレキシブルデバイス・システム、生体情報計測、ウェアラブルデバイス、体内埋植デバイス



小野寺 宏 Onodera, Hiroshi
特任教授

本

工学医学連携デバイス(再生医学用デバイス、ウェアラブル人間支援デバイス、生体センシング)、臓器透明化技術の臨床医学向デバイス



八井 崇 Yatsui, Takashi
准教授

本

ナノ光学、ドレスト光子工学



杉山 正和 Sugiyama, Masakazu
准教授

本

III-V半導体ナノ構造太陽電池、半導体エネルギーデバイス・システム



竹中 充 Tekenaka, Mitsuru
准教授

本

シリコン・フォトニクス、光電子集積回路




大矢 忍 Ohya, Shinobu
准教授

本

スピントロニクス、量子ナノ構造


† 小野寺教授に配属された学生は染谷隆夫教授との共同指導となる。

担当教員一覧




種村 拓夫 Tanemura, Takuo 本
准教授

光集積回路、化合物半導体、ナノフォトニクス




中根 了昌 Nakane, Ryosho 本
特任准教授 †

電子材料物性、半導体電子デバイス、スピントロニクス



横田 知之 Yokota, Tomoyuki 本
講師

有機エレクトロニクス、プリンタブルエレクトロニクス




荒川 泰彦 Arakawa, Yasuhiko 駒
教授 ※

量子ナノデバイス工学




藤田 博之 Fujita, Hiroyuki 駒
教授 ※

マイクロナノメカトロニクス




平川 一彦 Hirakawa, Kazuhiko 駒
教授

量子半導体エレクトロニクス、テラヘルツダイナミクス、ナノサイエンス



平本 俊郎 Hiramoto, Toshiro 駒
教授

集積デバイス工学、超低消費電力デバイス



高橋 琢二 Takahashi, Takuji 駒
教授

ナノプローブ技術




年吉 洋 Toshiyoshi, Hiroshi 駒
教授

MEMS、マイクロメカトロニクス




岩本 敏 Iwamoto, Satoshi 駒
准教授

ナノオプトエレクトロニクス



野村 政宏 Nomura, Masahiro 駒
准教授

量子融合エレクトロニクス、フォノンニクス



小林 正治 Kobayashi, Masaharu 駒
准教授

集積ナノエレクトロニクス



廣瀬 和之 Hirose, Kazuyuki 相
教授

宇宙電子デバイス、半導体ナノ電子物性

※ 今年度学生配属はしない。

† 中根了昌准教授に配属された学生は田中雅明教授との共同指導となる。

バイオ・複雑系分野

Nano Bio Electronics
and Complexity Engineering



田畑 仁 Tabata, Hitoshi
教授

本

酸化物エレクトロニクス、バイオエレクトロニクス



小関 泰之 Ozeki, Yasuyuki
准教授

本

バイオフォトニクス



関野 正樹 Sekino, Masaki
准教授

本

生体医工学



松井 裕章 Matsui, Hiroaki
講師

本

※

酸化物ナノフォトニクス、バイオ・ケミカルセンシング



合原 一幸 Aihara, Kazuyuki
教授

特

複雑系数理モデル学、生命情報システム論、カオス・量子人工脳、人工知能の数理



河野 崇 Kohno, Takashi
准教授

特

神経形態学的システム、神経システムモデリング



小林 徹也 Kobayashi, Tetsuya J.
准教授

特

システムバイオロジー、定量生物学、生命数理情報工学



田中 剛平 Tanaka, Gouhei
特任准教授

特

†

複雑系動力学、省エネルギー情報処理

メディア・知能・計算分野

Media, Intelligence
and Computation Technology



大石 岳史 Oishi, Takeshi
准教授

特

コンピュータビジョン、複合現実感



佐藤 周行 Sato, Hiroyuki
准教授

本

プログラミング言語・情報セキュリティとInternetトラスト



鶴岡 慶雅 Tsuruoka, Yoshimasa
准教授

本

自然言語処理、ゲームAI



峯松 信明 Minematsu, Nobuaki
教授

本

音声言語処理、外国語学習支援



中島 研吾 Nakajima, Kengo
教授

本

高性能計算、並列数値アルゴリズム、計算力学



埴 敏博 Hanawa, Toshihiro
准教授

本

特

高性能計算、演算加速器、高速インターコネク

※ 今年度学生配属はしない。

† 田中剛平准教授に配属された学生は合原一幸教授との共同指導となる。

担当教員一覧

ユビキタス情報環境分野

Ubiquitous Information
Environment Technology



相田 仁 Aida, Hitoshi
教授

本

ネットワーク・分散処理



小川 剛史 Ogawa, Takefumi
准教授

本

ヒューマンインタフェース、インタラクティブメディア、ヒューマンコンピュータインタラクション、拡張現実感



工藤 知宏 Kudoh, Tomohiro
教授

本

大規模情報処理基盤、IT資源管理



関谷 勇司 Sekiya, Yuji
准教授

本

ネットワークプロトコル、仮想化システム、サイバーセキュリティ



中山 雅哉 Nakayama, Masaya
准教授

本

広域分散処理



森川 博之 Morikawa, Hiroyuki
教授

本

モノのインターネット、M2M、ビッグデータ、無線通信



矢谷 浩司 Yatani, Koji
准教授

本

ヒューマン・コンピュータ・インタラクション、ユビキタスコンピューティング

※ 今年度学生配属はしない。

半導体システム分野

LSI System Engineering



浅田 邦博 Asada, Kunihiro
教授

本
※

順応型LSI設計と応用



飯塚 哲也 Iizuka, Tetsuya
准教授

本

アナログ・デジタル混載先端LSIシステム



池田 誠 Ikeda, Makoto
教授

本

システムLSIとハードウェアセキュリティ



櫻井 貴康 Sakurai, Takayasu
教授

駒

エネルギーエフィシエント集積回路設計



高宮 真 Takamiya, Makoto
准教授

駒

エネルギー自立システム向けナノパワーマネジメント回路



名倉 徹 Nakura, Toru
特任准教授

本
※

ミックスドシグナルLSIシステム



藤田 昌宏 Fujita, Masahiro
教授

本

組み込みシステム・VLSI 設計支援技術



三田 吉郎 Mita, Yoshio
准教授

本

知的半導体マイクロデバイス (MEMS)

フォトニクス・ワイヤレス分野

Photonics and Wireless Engineering



菊池 和朗 Kikuchi, Kazuro
教授

本
※

光・量子情報ネットワーク



廣瀬 明 Hirose, Akira
教授

本

ワイヤレスエレクトロニクス、
(リモートセンシング、アダプティブ アンテナなど)



保立 和夫 Hotate, Kazuo
教授

本
※

システムフォトニクス、センサフォトニクス



山下 真司 Yamashita, Shinji
教授

駒

光ファイバレーザ・デバイスとその応用



セット ジイヨン Set, Sze Yun
准教授

駒

レーザーシステム、光波計測、マイクロ波フォトニクス

※ 今年度学生配属はしない。

修士課程用 (For Master's Programs)

平成 29(2017)年度 電気系工学専攻調査票

2017 Questionnaire, Department of Electrical Engineering and Information Systems

志願者は、下記に記入の上、左の点線で切り取り、入学願書と同時に必ず提出してください。

Fill in the form below and submit it along with the entrance application form.

東京大学大学院工学系研究科電気系工学専攻
Department of Electrical Engineering and Information Systems
Graduate School of Engineering, The University of Tokyo

ふりがな 受験生氏名 Full Name	(Family Name) (First Name) (Middle Name)	受験番号 Seat No. (記入不要) (Leave blank)	
出身大学 Alma Mater	大学 (大学院) University	学部 (研究科) Faculty	
	学科 (専攻) Department	年 月 Year Month	卒業 (修了) / 卒業見込み Graduated / Expected to graduate
連絡先 (Current Address and Contact Information)			
自宅または下宿の住所 と連絡先 Home Address (or current residence) and Contact Information	〒 電話 (Phone Number) : 携帯電話 (Mobile Phone Number) : 電子メール (E-mail Address) :		
現在の所属と電話番号 大学・企業名 (研究室・ 所属グループまで記入 してください) Current position of applicant (name of university/company and laboratory/group)	電話 (Phone No.) : 内線 (Extension) :		
希望する研究分野および指導教員 (複数可) Your desired research field(s) and supervisor(s) :			
本専攻および上記研究分野、指導教員を希望する理由 (大学院に進学した際に研究してみたいテーマについても記すこと) Please explain your reasons for choosing the supervisor you have indicated. Please also explain your research motivations. Additionally, please describe the theme of your graduate school provisional research topic.			

卒業研究のテーマについて簡単に説明をしてください。研究室配属が決まっていない場合には、希望するテーマについて説明してください。

Please briefly describe your graduation research. If you have not yet begun your research, please explain your provisional plan.

卒業後の進路に関する構想 Please describe your plans following graduation.

その他特記事項(表彰や研究に関連する資格等を含む)があれば記してください。

Please list any special skills or qualifications (including honors, awards, and certifications related to your research activities).

【重要注意事項】 Important Note

本調査票とともに、学部等での成績証明書、および次頁の成績集計表を提出すること。

In addition to this questionnaire, please submit your official undergraduate transcript (or its equivalent) along with the grade summary sheet on the next page.

学部等での成績集計表

Grade summary sheet for undergraduate courses and equivalents

1. 学部等での成績表 1 部につき 1 つの欄を使用して記入し、成績表に添付して提出すること。
Use one section below for each of your transcripts. Submit this sheet along with your transcripts.
2. 欄が不足する場合は本表を必要部数コピーし、漏れなく記入すること。
If you need more space to record your information, make another copy of this page and fill in your details.
3. 裏面の注意をよく読んで理解し、間違いのないように記入すること。本表の内容が成績表の記載事項と大きく異なる場合、評価に不利益が生じる場合がある。
Read the information on the reverse side of this page carefully, and fill in the sections correctly. If the information on this sheet differs significantly from your transcript, your evaluation may be negatively affected.

ふりがな 受験生氏名 Name in Full	(Family Name) (First Name) (Middle Name)	受験番号 Seat No. (記入不要) (Leave blank)	
-------------------------------	--	---	--

課程名 (1) Curriculum Name (1) _____

※成績表が複数ある場合、各成績表に適当な名前をつけ、成績表と下表の対応を明確化すること。

If you have multiple transcripts, assign an appropriate name to each transcript and write the name in the "Curriculum Name" section to make the connection between each curriculum and the grades below it very clear.

	成績区分 Grade Category	取得単位数 Number of Credits
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
合計 Total		

※表の行が不足する場合や、注意事項があれば、欄外に記入すること。

※ Use the space outside the table if you need an extra row or would like to make a note about the information you have included.

課程名 (2) Curriculum Name (2) _____

※成績表が複数ある場合、各成績表に適当な名前をつけ、成績表と下表の対応を明確化すること。

If you have multiple transcripts, assign an appropriate name to each transcript and write the name in the "Curriculum Name" section to make the connection between each curriculum and the grades below it very clear.

	成績区分 Grade Category	取得単位数 Number of Credits
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
合計 Total		

※表の行が不足する場合や、注意事項があれば、欄外に記入すること。

※ Use the space outside the table if you need an extra row or would like to make a note about the information you have included.

記入上の注意

Completing the Grade Summary Sheet

(1) 成績表が複数ある場合、各成績表に適当な名前をつけ「課程名」欄に記入し、成績表と表の対応を明確化すること。

If you have multiple transcripts, assign an appropriate name to each transcript and write the name in the "Curriculum Name" section to make the connection between each curriculum and the grades below it very clear.

(例 1) 東京大学

「前期課程」(2 年夏学期まで)の成績で 1 欄に記入。

「後期課程」の成績でもう 1 欄に記入。

Example 1) The University of Tokyo

The first two years of study should be included in the first table (up to the summer term of year two).

Years three and four should be indicated in the second table.

(例 2) 工業高等専門学校(高専)から大学 2-3 年次に編入高専 4-5 年次の成績で 1 欄に記入(課程名は「高専 4-5 年次」)。大学の成績でもう 1 欄に記入(課程名は「大学」)。

Example 2) Admission to 2nd or 3rd year university courses after graduation from a technical college.

Use one table for data from years 4 and 5 at the technical college (name the curriculum "4th and 5th years, technical college").

Use the other table for the university (name the curriculum "university").

(2) 「成績区分」とは、成績表における区分である。以下の例を参考にして、成績区分ごとに取得単位数を数えて記入すること。ただし、点数のつかない「合格」などは無視すること。不合格に相当する区分も無視すること。

"Grade category" is used to categorize grades received. Referring to the examples below, count **the number of credits** you got which correspond to each category. Do not include courses for which no score was recorded (such as pass/no-pass courses). Do not include failed courses.

(例 1 example 1) 優、良、可

(例 2 example 2) 秀、優、良、可

(例 3 example 3) S、A、B、C

(例 4 example 4) S+、S、A+、A、A-、B+、B、B-、C+、C、C-

離散的な成績区分がなく連続的な点数が記されている場合には、満点を 100 点として換算し、100 ~ 90 点、89 ~ 80 点、79 ~ 70 点、69 ~ 60 点のように合格範囲を 10 点間隔で区分化して、取得単位数を区分ごとに記入すること。この際、「成績区分」には「100 ~ 90」「89 ~ 80」のように記入すること。

In cases where no letter grade has been assigned, but a continuous score has been given, set 100 points as "full marks" and **indicate passing ranges** with segments of 10 (60-69, 70-79, 80-89, 90-100)

Count **the number of credits** corresponding to each category and record them in the table. The "Grade category" column should include the passing score ranges (60-69, 70-79, 80-89, 90-100).

(3) 本表の記入法がどうしてもわからない場合は、氏名のみを記入して本表を成績証明書に添付すること。

If you have difficulties understanding how to correctly record your information on the grading sheet, please simply write your name on the document, and submit it with your official transcript.

記入例 (1) Example (1)

課程名 / Curriculum Name:

前期課程 / 1st-2nd year studies

	成績区分 Grade Category	取得単位数 Number of Credits
1	秀	20
2	優	85
3	良	30
4	可	10
5		
6		
7		
8		
合計 Total		145

記入例 (2) Example (2)

課程 / Curriculum Name:

高専4-5年次 / 4th-5th years, National College of Technology

	成績区分 Grade Category	取得単位数 Number of Credits
1	S	15
2	A+	5
3	A	30
4	A-	10
5	B+	5
6	B	5
7	B-	0
8	その他 (The other credits)	18
合計 Total		88

表に入らないその他データは欄外に

Use the space outside the table to list the content of the other credits

その他内訳 The content of the other credits

C+ 10

C 5

C- 3

小計 (Sub total) 18

記入例 (3) Example (3)

課程名 (空欄) (Blank)

	成績区分 Grade Category	取得単位数 Number of Credits
1	100 - 90	20
2	89 - 80	65
3	79 - 70	25
4	69 - 60	3
5		
6		
7		
8		
合計 Total		113



東京大学

本冊子の問い合わせ先
For inquiries or information

.....
東京大学大学院工学系研究科
電気系工学専攻事務室

住 所: 〒113-8656 東京都文京区本郷 7-3-1
電 話: 03-5841-6712 (直通)
E-mail: nyushi17@ee.t.u-tokyo.ac.jp